



注目情報

お知らせ

募集

イベント

スポーツ

保健・子育て

安心・安全

まちの話題

掲示板

注目情報

お知らせ

募集

イベント

スポーツ

保健・子育て

安心・安全

まちの話題

掲示板



防犯活動に尽力した皆さんが 防犯栄誉（金章・銀章・銅章）を受賞

9月28日、多年にわたり防犯活動に尽力し、犯罪の防止に多大な功労をされた人に対して警察庁長官と全国防犯協会連合会会長から贈られる「防犯栄誉金章」を金野熙さんが、「防犯栄誉銀章」を栗野孟さんが、全国防犯協会連合会会長から贈られる「防犯栄誉銅章」を岡野周二さんが受賞しました。

3人は、地域防犯推進委員として、防犯パトロールや子どもたちの見守り活動に取り組むなど、長年の地域防犯活動が高く評価されました。



ウォータースタンド(株)と「プラスチック ごみ削減推進に関する協定」を締結

10月5日、市はウォータースタンド(株)と「プラスチックごみ削減推進に関する協定」を締結しました。この協定に基づき、10月から、体育センター・総合福祉センターへ浄水型ウォーターサーバー「ウォータースタンド」を設置。これは、同社と県内自治体との11例目の取組みで、使い捨てプラスチック製品の使用抑制と、リユース可能なマイボトル容器の利用推進を目的としています。市は、今後も日常的に実践できる地球環境に配慮した活動の浸透と行動変容の輪を広げていきます。

取材ノート

広報担当者が独自に取材した地域の取組み、活動等についてお届けします。

☎市長公室シティブロモーション・広報担当 (☎ 594-5505)

災害発生時には被災患者等の受入拠点となる北里大学メディカルセンター。10月9日、同病院で多数傷病者受け入れ訓練が開催されると聞き、取材に伺いました。訓練の想定は、県内で震度6弱以上を観測する首都直下型地震。普段は外来受付になっているスペースも、待合ベンチを片づけて傷病者を運ぶベッドが並べられ、平時とは大きく様変わりしていました。救急外来は、赤タグ（最優先治療群）※エリアとして医師・看護師・事務職員が連携し医療処置や患者の情報共有体制、酸素ボンベや人工呼吸器等の設置などを入念に確認しています。エリアのリーダー・加藤智之さんからは「診断をつけよう」「じゃなくて「助けよう」と考えてください」との声かけがあり、実際の災害さながらの緊張感が走ります。そして、ついに看護学生等による傷病者役が次々と搬送。氏名、脈拍、血圧などを告げられ、ベッドごとに医師・看護師が集まり、医師が患者の状態を評価し、優先的に対応すべき事項を共有。必要に応じて、レントゲンやECG検査器具なども運ばれていきます。緊急手術のため、トランシーバーで本部へ外科医の派遣を依頼するシーンもありました。

この訓練には、埼玉県央広域消防本部や北本市社会福祉協議会も参加しています。災害時にスムーズに連携できるよう、平常時から顔の見える関係を作るのが目的なんです」と病院の柳沼亮一さんが話してくださいました。社会福祉協議会は、院内に災害ボランティアセンターを開設。病院からの要請に応じてボランティアを派遣します。「7つのエリアにだれが何時にどこへ派遣されたのか記録を取っているんです」と社会福祉協議会の小倉明美さんは話します。ここで活躍するボランティアは、事前に登録のある北本市民の皆さん。支援物資の運搬や患者の搬送など、病院職員に混ざって忙しく活動していました。朝9時から訓練を開始し、正午に終了するまで、終始緊迫した空気が流れた北里大学メディカルセンター。見学者も真剣な表情で見守り続け、災害時の医療について地域で考える3時間となりました。

緊迫の3時間 北里大学メディカルセンターで 多数傷病者受け入れ訓練開催



この訓練には、埼玉県央広域消防本部や北本市社会福祉協議会も参加しています。災害時にスムーズに連携できるよう、平常時から顔の見える関係を作るのが目的なんです」と病院の柳沼亮一さんが話してくださいました。社会福祉協議会は、院内に災害ボランティアセンターを開設。病院からの要請に応じてボランティアを派遣します。「7つのエリアにだれが何時にどこへ派遣されたのか記録を取っているんです」と社会福祉協議会の小倉明美さんは話します。ここで活躍するボランティアは、事前に登録のある北本市民の皆さん。支援物資の運搬や患者の搬送など、病院職員に混ざって忙しく活動していました。朝9時から訓練を開始し、正午に終了するまで、終始緊迫した空気が流れた北里大学メディカルセンター。見学者も真剣な表情で見守り続け、災害時の医療について地域で考える3時間となりました。

※災害時は、多数の傷病者が発生するため、傷病の緊急性や重症度に応じて治療優先度を決定します。この対応をトリアージと言い、治療優先順位に応じて識別色が定められています。「赤タグ」は、トリアージにおいてもっとも治療優先順位が高い重傷者が該当します。

収穫の秋！中丸小5年生が自分たちで植えた稲を刈り取り！

10月6日、中丸小学校の5年生が校舎に隣接する水田（学校応援団・原島敏一さん提供）をお借りして、5月に苗を植え付けた稲を刈り取りました。

初めは、慣れない鎌の扱いに苦労していた児童たち。一束、二束と刈り取りを繰り返すうちに上達していきました。刈り取った稲は、脱穀のあと精米し、家庭科の調理実習で実食する予定です。児童は、「早く食べたい」「塩むすびで食べたい」と口々に話していました。



澄んだ秋空の下、石戸小5年生が稲刈り体験！

10月3日、緑のトラスト保全第8号地「高尾宮岡の景観地」で、石戸小学校5年生の児童が稲刈りを体験しました。当日は里山保存会の皆さんの指導を受けながら、刈り取りから稲架掛けまでの作業を体験し、お米ができるまでの大変さを学びました。

児童が今年の5月から育て、自らの手で収穫した稲は約220キロのお米になり、市内公共施設等へ配布され、石戸小学校の給食でも提供されました。



西中3年の高橋匠選手が「YAMAHA YZF-R3 スカ ラシッ」で2024年欧州R3 Cupの参戦権を獲得

このスカラシッは、シーズンを通じた戦績や将来性に鑑みてヤマハが選抜したライダーを「R3 bLU cRU European Championship」に派遣するというものです。欧州でさまざまなサポートを受けながら力を蓄え、多くのタレントが揃う環境の中で、高橋選手が実力をアピールし、世界選手権などへステップアップしていくことを期待しています。

